

平成 23 年 3 月 20 日



森づくり集団「<sup>しほり</sup>栞」事務局通信 Vol.30 号

【今月のお知らせ】【今月の活動報告】【次回の活動予定】【今月のレポート】  
【お知らせ/募集】【編集後記】



第3フィールドの近くでトラツグミを見つけました、めずらしいですね。 2011.03.06 撮影

【今月のお知らせ】

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震により、被災されました多数の皆様、  
及びご家族・ご親族の皆様に対し、謹んでお見舞い申し上げます。  
一日も早い復旧・復興を心からお祈り申し上げます。

事務局 影

## 平成23年度 総会開催のご案内

会員各位

森づくり集団「菜」  
代表理事 小林 秀夫

### 平成23年度 総会開催のご案内

寒さもようやく衰えはじめましたが、皆様ますますご健勝のほどお喜び申し上げます。  
さて、平成23年度総会を下記のとおり開催いたします。つきましては、お忙しい折とは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご出席くださるようお願い申し上げます。

- ( 議案 ) 第1号議案 : 平成22年度事業・会計報告および会計監査報告  
第2号議案 : 平成23年度事業計画・予算(案)  
第3号議案 : 理事改選・その他

### 記

日 時 : 平成23年4月23日(土曜日)

13:00 ~ 17:00

会 場 : ふじみ野市立フクトピア会議室(地図は添付資料参照)

ふじみ野市福岡1-2-5 TEL:049-264-7971

東武東上線・上福岡駅下車

なお、ご出席ご欠席に係らず、メール返信にて事務局宛にお送り下されまようようお願い申し上げます。なお、総会後に親睦会(会費3000円)を予定しておりますので、参加できる方はその旨もご連絡もお願いいたします。(事務局・緑川E-mail: [m-mido@tcat.ne.jp](mailto:m-mido@tcat.ne.jp))

また、ご欠席の場合は委任状を申し受けいたしません、総会における議決等の一切の権限を議長に委任していただいたこととさせていただきます。

なお、議決権はありませんが、賛助会員の方も参加できます。

【平成23年度会費納入のお願い】(年額3,000円)

4月16日までに、下記銀行口座にお振込みをお願いいたします。

振込銀行 = 埼玉りそな銀行 ふじみ野支店

口座番号 = 店番;674 口座番号;0570087

口座名義 = 「森作り集団菜事務局」

なお、新会員の森様・富沢様には入会金の3,000円も含めての入金をお願いいたします。

会場地図:ふじみ野市立フクトピア会議室は、下記URLを参照してください。

[http://www.city.fujimino.saitama.jp/map/bunkasports/koryu\\_plaza.html](http://www.city.fujimino.saitama.jp/map/bunkasports/koryu_plaza.html)

事務局

## 【今月の活動報告】

3月6日(日) 10:00より

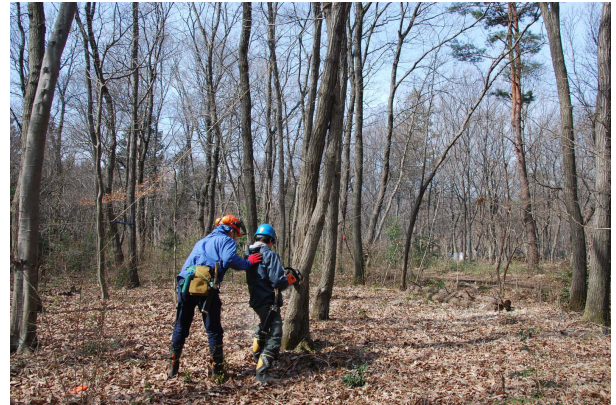
下富第3フィールド

参加者 / 小林、神座、緑川、渡部、吉田(裕)、吉田(敦)、土金、豊島、森、

神座(み)、田中、吉田(輝)、富沢 (敬称略)

活動担当者 / 武田

晴れて、風もなく、暖かな野外作業にはもってこいの一日でした。  
今日は次回にキノコのコマ打ちをするための楢木を作りました。  
伐倒するために初めに選んだコナラは幹が2本に分かれ、ねじ曲がり、上下2個所で癒着している木で、どこに倒れるかわからない、しかも途中で裂けるかもしれないという難しい木でした。



検討の結果、通常の伐り方とは異なる方法(勉強になりましたが、文字で上手く表現できません)で伐倒。見事目標通りに倒れました。その後、手分けして所定の長さに玉切りしました。

林内にはよく見ると、ところどころに枯れたコナラ等が目につきましたので、午後はこれらの枯損木を伐倒し、最後に落ち葉の堆肥づくり用の簡単な柵を作り、全員でその中に落ち葉を積み込みました。

活動担当者 武田



## 【次回の活動予定】

4月3日(日)

下富第3フィールド

しいたけほだ木のコマ打ちを行います。

活動担当者 武田



## 【今月のレポート】

### フデリンドウの不思議な性質

リンドウ科 GENTIANACEAE リンドウ属 フデリンドウ *Gentiana zollingeri*

山地の林内や日当たりの良いやや乾いた草原に  
自生する。花期3～5月、2年草。

秋に発芽し、春に花を咲かせて枯れてしまう植物  
なので、冬から春にかけて十分な光のあたるよく  
手入れされた明るい落葉樹林でないと生き延びる  
ことができない。

種子は雨によって散布される。

雨粒による衝撃で弾き飛ばされるか、杯を満たした  
水とともに流れ出す。

葉は対生し、形は広卵形で全縁、質はやや厚め。  
フデリンドウには根生葉がなく、ハルリンドウにはあり  
ロゼット状になるため見分けられる。

漏斗状の青紫色の花を、茎の上部に1～10数個、  
上向きにつける。

花は日があたっている時だけ開き、曇天、雨天時は、筆先の形をした蕾状態になって閉じ、  
種子の時期には写真のような「朔果」(種子の入っている部分)を、雨天時に開き逆に晴天で  
は閉じている。

このようにフデリンドウは、花の開閉性と朔果の開閉性が逆転する不思議な性質をもってい  
ます。



ある物性に対して反応する性質を「傾性」といいます。植物は季節を感知したり、暗闇に反応したり、接触、重力、気温などさまざまな条件に反応する性質を持っています。それを「傾触性」「重力傾性」「傾熱性」等といいます。



フデリンドウの種子は雨天に杯状の朔果を開き雨水を杯に溜め込みます。雨水が一杯になると種子は水と共に流れ出して周囲に散布されることになり、朔果の形状も雨水が中央から流れ出しやすい形状になっています。さらに雨滴により種をはじき飛ばされることで散布されます。

フデリンドウの花は開花すると雄しべは「雄性期」を迎えます。雌しべはまだ機能しません。やがて、昆虫達に花粉を運び出されてしまう頃には雄しべは枯れ、やがて雌しべの先端が2つに割れてきます。雌しべが完熟して機能する「雌性期」です。この時の雄しべにはすでに花粉は残っていないため、昆虫などによって、他の花から運ばれた花粉を受け入れて受粉します。自花受粉を避けて、最も効率の良い、優れた子孫を残すための「雄性先熟」といわれる仕組みです。

植物の多くはこのような雄性期～雌性期に性転換する「雄性先熟」の仕組みを持っています。逆に雌性期～雄性期に移行する「雌性先熟」の仲間もみられます。

このようにリンドウの仲間は、自花受粉を避けるために「雄性先熟」の仕組みをもち、さらに昆虫を利用する花の時期には、晴れた日に花を開き朔果を閉じ、雨滴を利用する種子の時期には、雨の日に朔果を開き花を閉じる、これはフデリンドウの究極の繁殖戦略であり、不思議な性質です。

植物にはこのようなまだ知られざる不思議な性質を作り出すものがたくさんあります。自然の素晴らしさを見つけ出してみましょ。

植生調査担当 吉田 あ

## 【お知らせ/募集】

### 参加者募集のお知らせ

森づくり集団「<sup>しほり</sup>菜」は、毎月第1週日曜日に所沢下富のくぬぎ山及び三芳町で里山の手入れをおこなっています。会員のほとんどが森林インストラクターの資格を取得し、初めての方には危険防止のための注意事項、作業方法を丁寧にご指導いたします。私たちは10年以上にわたり目的に応じた森の手入れをして、経過を観察し新しい発見、新しい取り組みを楽しんでいます。また、植物の観察会、子供のための観察会、森の手入れ研修会などの企画計画していますので、興味のある方はぜひご参加下さい。

連絡先は下記事務局まで

## 【編集後記】

3月に入り待ち遠しかった暖かい春を期待しつつ、花粉の恐怖に怯えていました。今年には去年の5、6倍花粉が飛ぶようですが、今は気持ちを切り替えてこの季節を特別なものとせず4月、5月を乗り切る事にしました。

突然東北関東大地震が発生し津波が押し寄せ連日ニュースは地震、津波一色で震撼とさせられました。するとこんどは原子力発電所の爆発で被災された方が出てしまいました。

安全な日本といわれ安心して日常の生活を送ってきましたが、世界に広がっている戦争をよそごとの様にみていた今、現実を突きつけられた感じです。

一日でも早く行方不明の方が見つかри、避難されている方々の生活が復旧できますようにと心からお祈りいたします。

緑川

## 植物の栞

今月はお休みします。

あ

森づくり集団「栞」事務局

アドレス info@mori-shiori.sakura.ne.jp

ホームページ <http://mori-shiori.sakura.ne.jp/>

事務局長 緑川睦子